

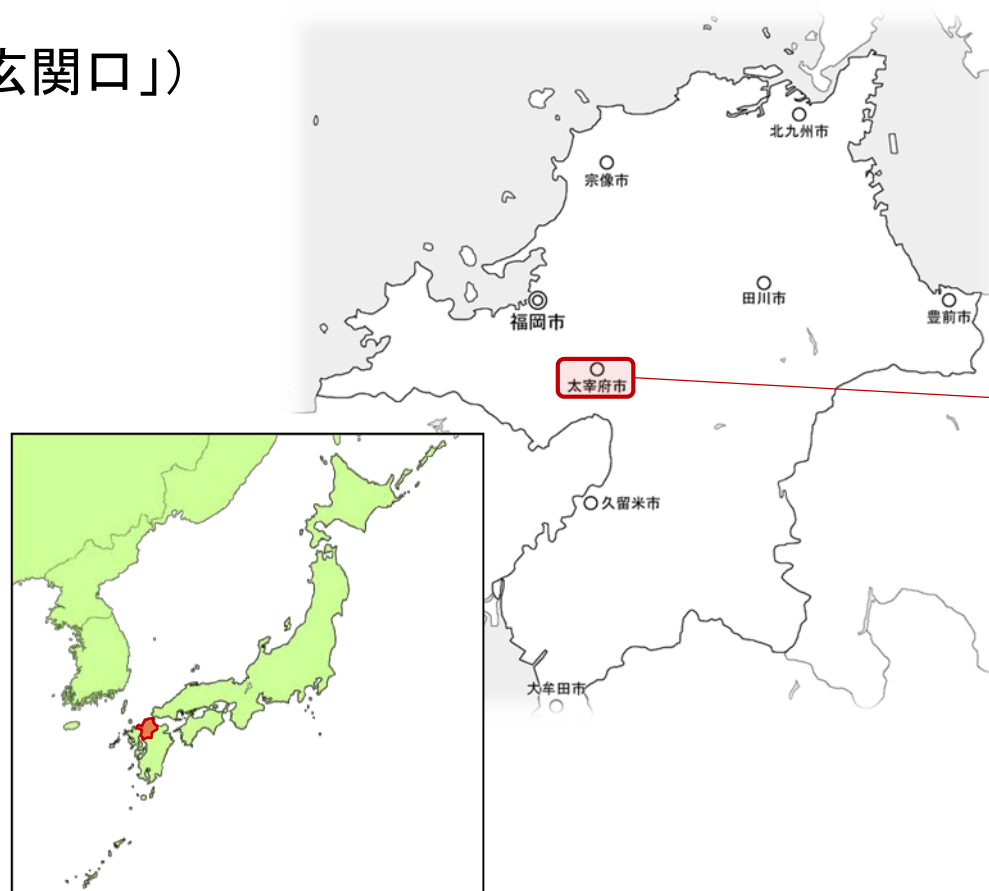
福岡県気候変動適応センター 事例紹介

高橋 浩司

(福岡県保健環境研究所)

①福岡県の特徴

- 位置
九州北部（「アジアの玄関口」）
- 人口
511万人（全国9位）
- 県産品（農産物）
 - いちご「あまおう」
 - かき「秋王」
 - キウイ「甘うい」
 - 小麦「ラー麦」



坂本八幡宮
（「令和」ゆかりの地）



福岡県保健環境研究所
（福岡県気候変動適応センター）

②適応センター設置の経緯

- ・経緯

平成30年6月 県庁環境保全課から保健環境研究所に対し適応センター設置について打診(環境部重点事業)

(平成31年4月 県知事選挙)

令和元年7月 令和元年度当初予算成立

令和元年8月7日 適応センター設置

- ・設置根拠

- ・福岡県気候変動適応センター設置要綱



③これまでの取り組み-1

- 福岡県気候変動適応推進協議会の開催（年2回）

- 目的

気候変動の影響や適応策について情報を共有するとともに、気象台や専門家の助言・提言により、効果的な適応策の推進に資する。

- メンバー

専門家	浅野 直人	福岡大学名誉教授(福岡県環境審議会会長)【環境政策】
	岩熊 志保	まほろば自然学校代表理事【自然生態系】
	小松 利光	九州大学名誉教授【災害対策】
	堀江 正知	産業医科大学教授【健康】
	肱岡 靖明	国立環境研究所気候変動適応センター副センター長
関係機関	国関係機関	福岡管区気象台、環境省九州地方環境事務所
	県内政令市・中核市	北九州市、福岡市、久留米市
	県試験研究機関	保健環境研究所(適応センター)、農林業総合試験場、水産海洋技術センター
	県庁関係課	保健医療介護総務課、環境保全課、自然環境課、農林水産政策課、企画課
	福岡県地球温暖化防止活動推進センター（九州環境管理協会）	

③これまでの取組み-2

- ・ 福岡県の気候変動による影響等調査業務委託

- ・ 目的

福岡県における気候変動影響及び当該影響による被害を防止・軽減するための適応策のあり方(事例を含む)について、分野別・項目別・地域別・主体別にできるだけきめ細かく調査・分析・整理することにより、福岡県及び県内の各主体(市町村、事業所、県民)による適応策の推進に資する。

- ・ 内容

- ・ 福岡県における気候変動影響の整理(分野別・項目別・地域別・主体別)
 - ・ 福岡県における適応策のあり方の整理(分野別・項目別・地域別・主体別)

③これまでの取組み-3

・ 情報発信

・ ホームページ



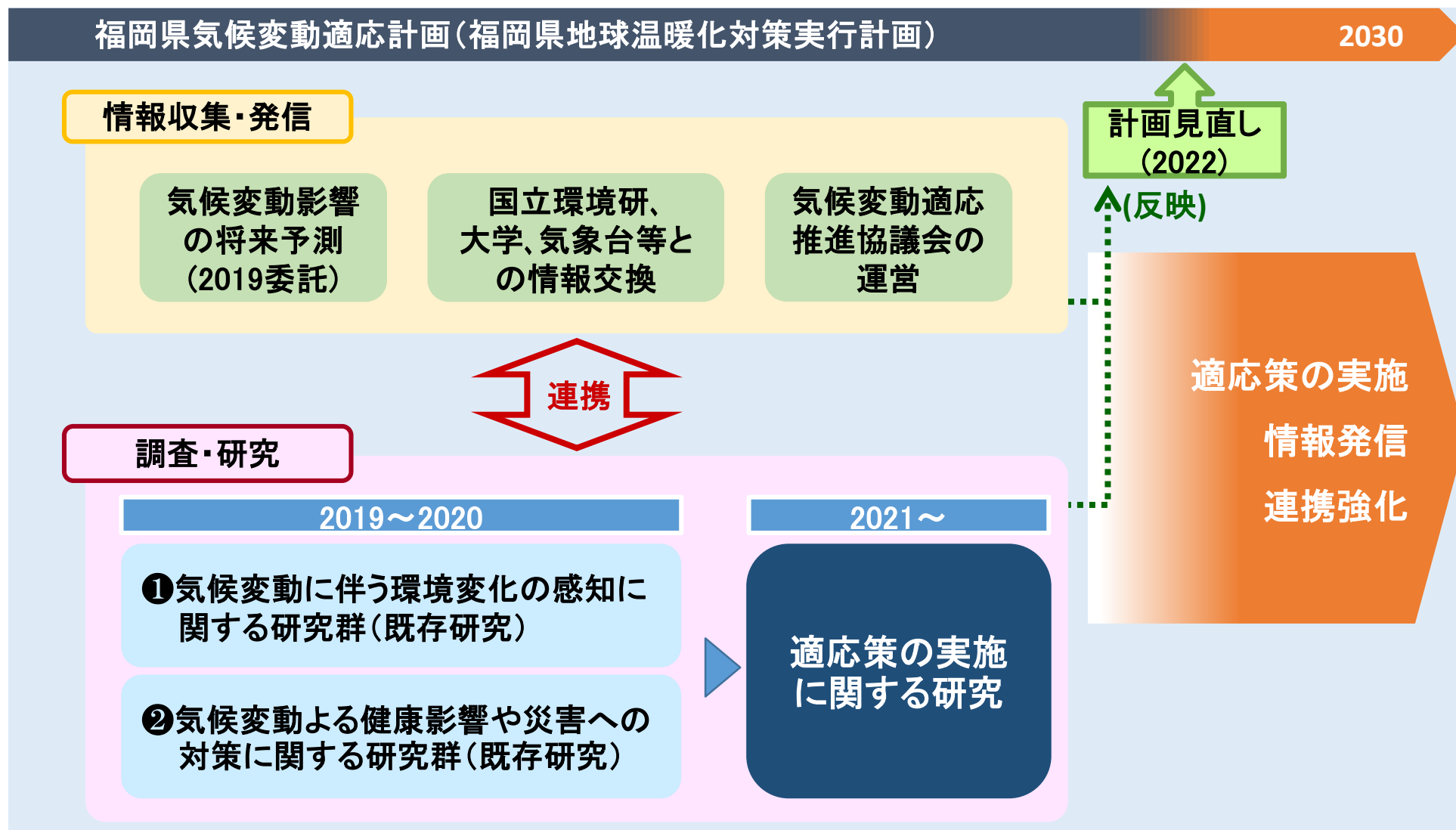
・ 展示会出展



エコテクノ2019(北九州市)

<http://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~lccca/>

④今後の取組み



⑤適応センターの運営等での課題

- ・ 人員の確保
 - ・ 現在、適応センターは兼務4名（センター長（=所長）とセンター次長（=部長）を除くと実質2名）で運営している。
 - ・ 研究所には温暖化や気候変動が専門の人材がいない。
 - ・ 人員の要求をしているが、厳しい状況。
- ・ 予算の確保
 - ・ 独自の調査研究や情報発信に対する予算が確保できていない。
- ・ 適応センターの認知度
 - ・ 県庁上層部や他部署のセンターに対する認知度が低い。